

安全データシート

作成 2015年11月30日

1. 製品名及び会社情報

製品名 : 4%塩酸
製造元 : 協和純薬工業株式会社
東京都北区浮間 4-16-28
TEL 03-3968-7441
FAX 03-3969-0049
販売元 : 株式会社 ウチダテクノ
東京都中央区新川 1-10-14 ニューリバービル 2 階
TEL 03-5657-4072
FAX 03-5657-4082

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

急性毒性(経口) : 区分 3
急性毒性(吸入: 粉じん/ミスト) : 区分 2
皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 1
呼吸器感作性 : 区分 1
特定標的臓器・全身毒性 (単回・反復暴露) : 区分 2 (呼吸器系・歯)
水生環境有害性 (急性) : 区分 2

【GHS ラベル要素】



危険

【危険有害性情報】

・飲み込むと有害
・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
・呼吸器系、歯の障害のおそれ
・水生生物に毒性

【安全対策】

・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
・取り扱い後はよく手を洗うこと。
・ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
・適切な保護具を着用すること。

【応急処置】

4. 応急処置を参照。

【保管】

7. 取り扱い及び保管上の注意を参照。

【廃棄】

13. 廃棄上の注意を参照。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

化学名	含有量(w/w)	化学式	分子量	化審法	CAS No.
塩酸	約 4 %	HCl	36.46	(1)-215.	7647-01-0

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、安静保温に努めること。気分が悪い場合には、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹸で洗い流すこと。症状が続く場合には、医師の診断を受けること。

眼に入った場合 : 清浄な水で数分間洗眼したのち、直ちに眼科医の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、無理に吐かせない。意識のない場合は何も与えないこと。医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 現場の状況および周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

特有の危険有害性 : 熱分解によって刺激性で有毒なガスと蒸気が発生するおそれがある。

消火を行う者の保護 : 状況に応じて呼吸保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行い、漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止すること。作業の際には適切な保護具を着用し、風上から作業して、風下の人を退避させること。

【環境に対する注意事項】

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意すること。

【回収、中和】

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収すること。漏洩した場所は、消石灰、ソーダ灰等で中和し、水で十分に洗い流す。

7. 取り扱い及び保管上の注意

【取り扱い】

技術的対策 : 必要に応じて局所排気装置を使用すること。

注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。使用後は容器を密閉する。

安全取り扱い注意事項 : 適切な保護具を着用すること。

【保管】

適切な保管条件 : 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管すること。
混触禁止物質 : アルカリ性物質、金属類
安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

【許容濃度】

ACGIH (2006) : TLV-STEL 2ppm 日本産業衛生学会 (2006) : 5ppm

【保護具】

・酸性ガス用マスク ・保護手袋 ・側板付き保護眼鏡 ・長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体 pH : 強酸性
色 : 無色透明 比重 : データなし
臭い : 刺激臭 溶解性 : 水、エタノールに溶けやすい。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 推奨保管条件下で安定。 避けるべき条件 : 直射日光、高温
危険有害反応可能性 : 塩基と反応する。金属を腐食して水素ガスを発生する。 混触危険物質 : アルカリ性物質、金属類
危険有害な分解生成物 : 塩化水素 (HCl) ガス、塩素、水素

11. 有害性情報

急性毒性(経口 LD50) : 毒性値= 238 mg/kg
急性毒性(吸入: 粉じん/ミスト) : 毒性値=0.42mg/L
皮膚腐食性・刺激性 : 加成方式が適用できる成分からの判定により区分 2 に該当。
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼区分 1 の成分が濃度限界(3%)以上のため、区分 1 に該当。
呼吸器感作性 : CAS 番号:7647-01-0 が 1%以上のため、区分 1 に該当。
特定標的臓器・全身毒性 (単回・反復暴露) : CAS 番号:7647-01-0 が 1%以上のため、区分 2(呼吸器系・歯)に該当。

12. 環境影響情報

生態毒性 魚毒性 : 0.492mg/L (甲殻類)
生体蓄積性 : データなし

13. 廃棄上の注意

内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	品名	国連分類	容器等級
1789	塩酸	8	III

15. 適用法令

消防法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 施行令別表 3 特定化学物質 (第 3 類物質)
施行令第 18 条の 2[名称等を通知すべき危険物および有害物 (MSDS 対象物質)]
船舶安全法(危規則) : 腐食性物質(危規則第 3 条危険物告示別表第 1)
航空法 : 腐食性物質 (施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)
海洋汚染防止法 : 施行令別表第 1 有害液体物質 (Z 類)
化学物質管理促進法(PRTR 法) : 非該当
大気汚染防止法 : 特定物質

16. その他の情報

参考文献 :
1. 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ (改定第2版) 化学工業日報社 (2007)
2. GHS分類マニュアル GHS関係省庁連絡会議編 (2006)
3. 化学大辞典共立出版 (1991)
4. 安衛法化学物質 (1991)

本データシートは試薬に関する一般的な取り扱いを主に記載しており、試薬以外としての取り扱い及び大量取り扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。

新たな情報を入手した場合には追加又は訂正される事があります。

記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するとき、その場の使用環境に応じて安全対策を実施して下さい。